

コロナ禍による日用品への影響

21711005 青木一輝

はじめに

2020年に、日本において新型コロナウイルス感染症が流行し、経済活動や日常生活においても多大な影響を受けることになった。

ハンドクリームなどの化粧クリームについても変化が見られ、コロナ対策といい、アルコール消毒を普段より多くすることになった一方、手荒れなどの影響でハンドクリームは以前以上に売れるようになった。

そこでまず、ハンドクリームの売り上げについて、バイヤー調査をもとに分析を行った。ここから卸売業はどういった商品を仕入れるべきかの確認をつかむことを目的とした。

次に、2016年～2020年における家計調査の分析を行った。ここから県ごとにハンドクリームなどの化粧クリームに対してどのくらいの金額を使っているのかの確認を目的とした。一方でハンドクリームの中でアトリックとメンソレータムの2商品に絞って、その口コミについて調べた。

以上のことから、消費者がどれくらい化粧クリームにお金をかけ、どういった商品を欲しているかを卸売業者の方々が仕入れのタイミングを把握することを目的とする。この目的が達成できれば、廃棄などの損を生まないことになる。

アプリケーションとして Exploratory を用いた。手法としては、塗分け地図とワードクラウド、単語ペアネットワーク図を用いた。

結果としてネットやテレビなどで取り上げられていたハンドクリームは地域によって需要が違うなどの特徴を発見できた。